

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
新潟市地域ワークショップ 報告書

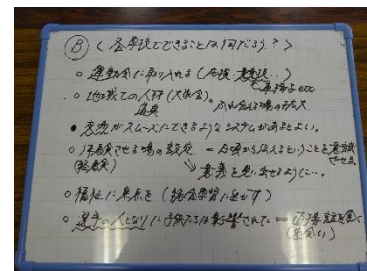
日時	2020（令和2）年2月25日（火）15：00－16：30
会場	新潟市役所白山浦庁舎3階教育会議室1
参加者	35名（新潟市教育委員会3名、推進校11名、来年度参加希望校20名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>15：00 開会挨拶 新潟市教育委員会学校支援課 課長 齋藤純一</p> <p>15：10 実践校による発表 ・新潟市立笹口小学校 新潟市立笹口小学校 教諭 澤野太郎 ・新潟市立鏡淵小学校 新潟市立鏡淵小学校 教諭 宮本裕介</p> <p>15：40 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について 日本体育大学 特別研究員 秋和真澄</p> <p>16：10 グループワーク ・新潟市のオリンピック・パラリンピック教育の推進に必要なこと</p> <p>16：30 閉会</p>
内容	<p>来年度の事業に参加を希望する学校は地域ワークショップに参加していただくよう事前に案内をしていたため、推進校以外の学校の参加もみられた。</p> <p>実践校による発表では、1年間の継続的な取り組み内容および児童の変容とともに、成果と課題が共有された。笹口小学校では、講師招聘の事前授業として、スポーツ庁の指導参考資料および「I'mPOSSIBLE」を使用してオリンピックとパラリンピックに関する学習を実施したと報告があった。鏡淵小学校では、「I'mPOSSIBLE」を活用したクイズの掲示、校内のバリアフリーについて考える授業を実施しており、来年度以降は3年生の総合的な学習の時間「福祉教育」に位置付けて実施すると報告があった。</p> <p>続いて、本学より、事業説明および実践事例紹介、東京2020大会に係る授業参考資料・聖火リレーに関して説明を行った。推進校以外の学校も参加していたため、既存の学校教育活動の中にオリンピックやパラリンピックなどの要素を取り入れることでオリンピック・パラリンピック教育になるということを強調して伝えた。</p> <p>グループワークでは、各校で実施可能なオリンピック・パラリンピック教育について協議した。各学校でできることとして、運動会に競技や聖火リレーを取り入れる、福祉に焦点を当て総合学習に生かす、「I'mPOSSIBLE」などの教材の活用などが挙がり、来年度以降のオリンピック・パラリンピック教育の実践に向けて有意義な協議となった。</p>



会場の様子



グループワークの様子



協議内容